

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員									
1部2年 2部2年	幼児教育実習（教育実習Ⅱ）	担当教員									
サブタイトル	幼稚園教育を理解し実践力を高める	単 位 数	5※								
授業形態	演習	※幼児教育実習Ⅰ・Ⅱ、 事前事後指導 合計で5単位									
開講時期	7月～11月上旬（実習時期10月）	出席要件									
到 達 目 標											
<p>外部の幼稚園実習に向けて自己課題を明確にし、主体的に実習に取り組む態度を養う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育実習の意義を理解し、教師の役割、実習に必要な資質・能力を理解し、自己課題と向き合い、実践的な学びを深めることができる。 2. 3・4・5歳児の発達を理解し、ねらいと内容に応じた援助等を踏まえた指導力・実践力を身につける。 3. 幼稚園や認定こども園の1日の流れを理解し、1日指導案の立案や実習録の記述の仕方を理解することができる。 											
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼児教育者としての情熱や責任感を身につけると同時に、保育者への夢の実現に向けて意識の高揚を図る。 2. 専門職に関する知識・技能及び表現力を習得し、様々な出来事に対応する力を身につける。 3. 様々な幼稚園教師とのかかわりを通して、豊かな人間性を育む。 											
授 業 の 方 法											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育を理解するために、各授業での学びを実習に関連付け具体的に実習をイメージする。 2. 幼稚園1日の流れを把握し、幼稚園教師の役割・援助のあり方を具体的に学ぶための模擬保育を行う。 3. 指導案、実習録の記述の仕方を理解し、繰り返し指導案等を書く。 4. 実習での部分実習・責任実習を想定し、3・4・5歳児の発達に応じた活動等教材研究を主体的に取り組む。 5. 『幼稚園教育要領解説』を熟読し、復習して実習に臨む。 											
テキスト・教材・参考図書											
<p>テキスト：『聖徳大学幼稚園実習必携』 参考図書：『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館 平成30年 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 内閣府 文部科学省 厚生労働省 フレーベル館 平成30年</p>											
評 価 の 要 点		総合評価割合									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前・事後のオリエンテーションすべてに出席する。 2. 幼実Ⅱの評価は、事前・事後のオリエンテーションでの提出物の期限厳守と、実習園からの評価を基に総合的に行う。 		<table border="0"> <tr> <td>課題レポート</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>実習録</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>実習ファイル</td> <td style="text-align: right;">30%</td> </tr> <tr> <td>模擬保育への取り組み</td> <td style="text-align: right;">10%</td> </tr> </table>		課題レポート	30%	実習録	30%	実習ファイル	30%	模擬保育への取り組み	10%
課題レポート	30%										
実習録	30%										
実習ファイル	30%										
模擬保育への取り組み	10%										
履修上の注意事項や学習上の助言など											
<ol style="list-style-type: none"> 1. 10月上旬～下旬、2週間の外部幼稚園の実習に向けての心構え（体調管理含む）と十分な準備をする 2. オリエンテーションの欠席・遅刻、提出課題の未提出者は、実習配属を見送る場合がある。 3. 実習オリエンテーションの指導時の服装は、フォーマルスーツで参加すること。 											

科目名 幼児教育実習（実習Ⅱ）

授業回数別教育内容		身につく資質・能力
1回	ガイダンス ・幼稚園教育実習Ⅱに向けての授業計画を理解する。 実習意義、授業に臨む姿勢、自己課題抽出、書類について	理解力 分析力 計画力
2回	人権・安全・心構えについて理解する。	理解力
3回	指導計画の作成について ・ねらいに即した一日の指導案の書き方について理解する。	理解力
4回	年齢や発達に応じた指導教材の選択（夏季休業中の課題） ・3・4・5歳児の発達を理解し、部分実習指導案を作成する。	理解力 計画力
5回	各年齢に合った運動遊びを考え、部分指導案を作成する。	理解力 計画力 計画力
6回	各年齢に合った製作活動を考え、部分指導案を作成する。	理解力 記述力 計画力
7回	各年齢に合った児童文化財を考え、部分指導案を作成する。	理解力 記述力 計画力
8回	幼児教育実習Ⅰの実習録を1年生に見せ、説明することで、実習録の書き方を復習する。	実践力 表現力
9回	実習園発表と実習園オリエンテーション指導 ・実習園訪問に際しての確認事項と準備内容について理解する。	理解力 実践力
10回	実習録の適切な記載方法を理解する ・指導場面における具体的な表記について理解する	理解力 記述力
11回	指導法の実践<模擬保育>① ・指導案に基づき保育を実践する。 ○模擬保育の評価・反省 ・実践した保育指導の課題を次の指導案作成と指導に活かす方法を理解する。	理解力 記述力 自己分析力
12回	指導法の実践<模擬保育>② ・指導案に基づき保育を実践する。 ○模擬保育の評価・反省 ・実践した保育指導の課題を次の指導案作成と指導に活かす方法を理解する。	理解力 記述力 自己分析力
13回	指導法の実践<模擬保育>③ ・指導案に基づき保育を実践する。 ○模擬保育の評価・反省 ・実践した保育指導の課題を次の指導案作成と指導に活かす方法を理解する。	理解力 記述力 自己分析力
14回	実習前指導 ・個人面談による教材等の準備状況や心構えを確認する ・必要書類や物品の準備状況を確認する	自己課題への自覚 志気の高揚
15回	実習後指導 ・実習を振り返り、学びを整理する	自己分析力 整理力